

WHO ファクトシート

鳥その他人畜共通インフルエンザ

Avian and other zoonotic influenza

2016年11月

重要な事実

- ・ヒトは、A(H5N1)型、A(H7N9)型や A(H9N2)型の鳥インフルエンザウイルス及び A(H1N1)型や(H3N2)型の豚インフルエンザウイルスのような鳥その他人畜共通インフルエンザウイルスに感染することがある。
- ・ヒトは、主として感染した動物や汚染された環境に直接接触することで感染するが、人と人の間では効率的な伝播は起こさない。鳥その他人畜共通インフルエンザウイルスが適切に調理された食物を通じて感染する可能性があるとの証拠はない。
- ・鳥その他人畜共通インフルエンザのヒトでの感染は、軽微な結膜炎から重篤な肺炎までの疾病や時には死亡の原因となる。
- ・A(H5N1)型や A(H7N9)型のヒトへの感染例の大部分は、その生死にかかわらず感染した家禽類に直接もしくは間接的に接触したことに関連している。発生源の動物での疾病コントロールは、人間への疾病リスクを減少させる上で決定的に重要である。
- ・インフルエンザウイルスは、水鳥が巨大な隠れた貯蔵所となっているために、根絶することは不可能である。ヒトにおける人畜共通インフルエンザ感染は引き続き起きる可能性がある。公衆衛生リスクを最小化するためには、すべてのヒトへの感染を網羅することによる動物集団と人間集団双方での質の高い調査及びリスクベースのパンデミック計画が必須である。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Avian and other zoonotic influenza ファクトシート原文は [こちら](#)